



学会・研究会・講演会
などのお知らせ

日本訪問看護財団研修

9月～10月／愛媛

医療的ケア児等支援者養成研修 (2日間研修)

日時：9月16日(土)～9月17日(日)

医療的ケア児等コーディネーター 育成研修(4日間研修)

日時：9月16日(土)～17日(日)，
10月14日(土)～15日(日)

【以下共通】

会場：ひめぎんホール(愛媛県松山市)

内容：医療的ケア児等のコーディネーターとの地域連携、資源の開発の方法などを理解する／医療的ケア児等の発達や疾患などの特徴、各疾患によるライフステージや必要な医療的支援をイメージし、地域の医療的現状を把握する／総論などの講義を基に、特に医療的ケア児等の計画作成に重要なポイントを意識し、事例に基づいた計画作成ができる／事例を基に、ニーズの把握、当事者の意向に沿った計画作成、関係機関との調整などができる

講師：谷口由紀子(淑徳大学看護栄養学部地域看護学領域)、矢野喜昭(愛媛県発達障がい者支援センターセンター長)、豊田ゆかり(愛媛県医療技術大学小児看護教授)、等々力寿純(全国重症心身障害児〈者〉を守る会)、岩井正一(愛媛県重症心身障害児〈者〉を守る会会長)、西村幸(松山市障がい者南部地域相談支援センター相談支援専門員)・安藤真知子(財団立在宅ケアセンターひなたぼっこ統括所長)

対象：保健師、看護師、准看護師、作業療法士

受講料：2日間研修5000円、4日間研修1万円

問い合わせ：日本訪問看護財団
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前
5-8-2 日本看護協会ビル5階
☎ 03-5778-7005(研修担当)

FAX 03-5778-7009

URL <http://www.jvnf.or.jp/>

訪問看護基礎講座

思いきって一歩(2日間研修)

日時：9月23日(土)～24日(日)

会場：東京工科大学蒲田キャンパス
3号館(東京都大田区)

【1日目】

内容：訪問看護をめぐる動向／訪問看護と病院内看護の違い／訪問看護の基本姿勢と役割／訪問看護制度のあらましなど

【2日目】

内容：訪問看護の展開過程(演習含む)／訪問看護に必要な知識／対人援助技術／地域における訪問看護師の役割と多職種協働

講師：安藤真知子(財団事務局次長)、平原優美(財団立あすか山訪問看護ステーション統括所長)

対象：新人訪問看護師、訪問看護に携わりたい看護職員、在宅看護論を担当する看護教員など

受講料：会員1万5000円、非会員3万円

【以下共通】

問い合わせ：日本訪問看護財団
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前
5-8-2 日本看護協会ビル5階
☎ 03-5778-7005(研修担当)

FAX 03-5778-7009

URL <http://www.jvnf.or.jp/>

第19回 看護国際フォーラム

日時：10月28日(土)

会場：別府ビーコンプラザ国際会議場(大分県別府市)

テーマ：はたらく看護職のストレスを活力に換える！

プログラム：講演1「医療者における仕事と生活のバランスと健康」渡

井いずみ(名古屋大学大学院医学系研究科看護学専攻地域・在宅看護学領域准教授)／講演2「医療者の身体的・精神的及びスピリチュアルストレス」カン・スンワン(ソウル大学校看護大学成人老年看護学学科准教授)／講演3「医療者のグリーフとレジリエンス—私たち医療者にケアは必要ですか?」下稲葉かおり(オーストラリア・モナシュ大学医学看護学健康科学部看護・助産師科講師)／総合討論(座長)杉本圭以子(大分県立看護科学大学)、梅尾さやか(ゆずの木クリニック)

定員：300名(先着順)

参加費：一般2000円、学生500円(同時通訳用レシーバー別途1000円)

申し込み期限：10月13日(金)(定員に達し次第締め切り)

申し込み方法：メールまたは往復はがきに、所属、氏名および同時通訳用レシーバー使用の有無を明記し、送信

問い合わせ：看護国際フォーラム事務局

〒870-1201 大分県大分市大字廻栖野2944-9 大分県立看護科学大学内

☎ 097-586-4300

✉ forum2017@oita-nhs.ac.jp

URL <http://www.oita-nhs.ac.jp/events/detail/33>

訪問看護サミット 2017

日時：11月12日(日)9:30～16:00

会場：ベルサール新宿(東京都新宿区)

テーマ：チームアプローチと訪問看護の未来

プログラム：特別講演「人が今をよりよく生きるために」小澤竹俊(めぐみ在宅クリニック院長)／シンポジウムI「専門職の役割とチームアプローチ」細野純(細野歯科クリニック院長)、土居由有子(アインホールディングス上席執行役員)、中村春基(日本作業療法士協会会長)

／基調講演「地域包括ケアシステム推進政策の最新情報と訪問看護への期待」鈴木健彦(厚生労働省老健局老人保健課課長)／シンポジウムⅡ「チームアプローチにおいて訪問看護をどう発展させるか」平原優美(財団立あすか山訪問看護ステーション統括所長), 中島由美子(訪問看護ステーション愛美園所長), 藤田みかる(とちぎ訪問看護ステーションみぶ所長)

定員：700名(当日受付は混雑時入場制限あり)

参加費：5000円

事前申し込み期限：10月20日(金)

申し込み：下記URLより

問い合わせ：日本訪問看護財団 サミット担当

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-2 日本看護協会ビル5階

☎ 03-5778-7001

FAX 03-5778-7009

URL <http://www.jvnf.or.jp/>

第7回

日本在宅看護学会学術集会

日時：11月25日(土), 26日(日)

会場：山梨県立大学看護学部池田キャンパス(山梨県甲府市)

テーマ：在宅看護の原点, そしてさらなる挑戦—実践・研究・教育の場からの発信

プログラム：学術集会長講演「地域包括ケアのなかで在宅看護を担う看護職の強みを活かす」佐藤悦子(山梨県立大学看護学部)／基調講演「山梨の訪問看護制度は35年前から始まった」川村佐和子(聖隷クリストファー大学大学院)／シンポジウム1「多様化するニーズに応える訪問看護師の人材育成」柴田三奈子(ラピオン代表取締役), 齋藤訓子(日本看護協会副会長), 小瀬文彰(全国新卒訪問看護師の会代表), 並木奈緒美(山梨県看護協会ゆうき訪問看護ステーション所長)／シンポジウム2「これからの在宅ケアは地域づくりから」新田國夫(全国在宅

療養支援診療所連絡会会長), 秋山正子(ケアーズ白十字訪問看護ステーション・白十字ヘルパーステーション統括所長), 力石泉(豊郷病院総看護部長), 矢崎貴恵(山梨市役所保健師), 西尚子(療育・介護経験者)／教育講演1「時代を見据えたこれからの在宅看護」佐藤美穂子(日本訪問看護財団常務理事)／教育講演2「社会学の視点から地域包括ケアのこれからをみる」猪飼周平(一橋大学大学院)／教育セミナー1「在宅における看取りのパス」茅根義和(東芝病院緩和ケア科部長)／教育セミナー2「看護学分野における質的統合」山浦晴男(情報工房代表)／教育セミナー3「看護研究における倫理」西田幸典(昭和大学保健医療学部)／市民・多職種公開講座「母に先立たれ認知症になった父を世話した10年に及ぶ男の介護」盛田隆二(作家)／上映会「愛しき命—訪問看護の現場から」渡邊理恵(鹿児島こども訪問看護ステーション所長)／他

参加費：

[事前登録] 会員8000円, 非会員9000円, 大学院生3000円, 学部学生1000円

[当日登録] 会員9000円, 非会員1万円, 大学院生3000円, 学部学生1000円

事前登録締め切り：10月10日(火)

問い合わせ：学術集会事務局

〒400-0062 山梨県甲府市池田1-6-1 山梨県立大学看護学部(佐藤研究室内)

☎ zaitaku7@yamanashi-ken.ac.jp

URL http://www.zaitakukango.com/shukai_7th/top.html

日本難病看護学会認定

「難病看護師」

平成29年度

認定研修会・修了試験

日時：12月2日(土)～3日(日)

会場(予定)：東邦大学看護学部(東京都大田区)

申請受付期間(予定)：～9月22日(金)

申請先：日本難病看護学会認定・難病看護師認定委員会事務局

〒156-8506 東京都世田谷区上北沢2-1-6 東京都医学総合研究所難病ケア看護 日本難病看護学会事務局内(詳細は下記URLより)

URL <http://nambyokango.jp/namby-okangoshi>

問い合わせ：日本難病看護学会(認定難病看護師専用)

☎ info@nambyokango.jp

本欄へ掲載を希望する学会・研究会・講習会などのお知らせがありましたら, 本誌編集室までお送りください。

〒113-8719

東京都文京区本郷1-28-23

FAX 03-5804-0485

☎ hokenshi@igaku-shoin.co.jp